

日米同盟=安保条約より、憲法が大事！

世界でも異常な対米従属、突出した「米軍基地国家・日本」

戦争する国へ急カーブ！

世界の世論に背いて、いち早く無法なイラク侵略戦争を支持し、憲法を無視して自衛隊の派兵を強行。

各国の撤兵が相次ぐ中で、「多国籍軍」に自衛隊を参加させる(アメリカの同盟国であるフランスやドイツはキツパリ拒否し、国民の多数が反対しているのに)...

そして、アメリカの戦争に国民を総動員する有事法制=戦争法を強行し、こんどは世界に誇る平和憲法をズタズタにして憲法9条改悪へ

ついでに根っこは

すべて日米安保条約です

戦後59年もたっているのに

日本にはいまだに米軍基地が136ヶ所(面積では、その75%が沖縄に集中)、在日米軍は約5万人が駐留。

その米軍は、日本を守る任務など持たず、日本は「殴りこみ部隊」(海兵隊・空母機動部隊など)の出撃・補給基地とされ、イラクでもアフガンでも戦闘・殺戮を続けています。しかもこの米軍に、在日米兵1人当たり、年間1600万円もの国民の税金がつぎ込まれ、「駐留経費」の大部分を負担しているのです。

● 非同盟諸国会議には国連加盟国の6割が参加、アジアの23カ国のうち、日本と韓国を除く20カ国とオプザーバーとして中国が参加しています。



この先何十年も、この国に外国の軍隊が駐留し続けて平気だとする国が、世界で一人前の大人の国と認識されるはずがない。

寺島実郎(日本総合研究所理事長)